

参画と協働のまちづくり推進会議の進め方 資料6

◆テーマ 「地域を好きになる～あなたも関わりをみつけよう～」

○ R1年度推進会議の最終目的

地域と関わる人をひとりでも増やす

「ないものねだりでなく、あるものを使う」
自治会・コミュニティ等市民活動や若者への呼びかけ
※ 随時ホームページやガルーンで公開。コミュニティ協議会連合会でも共有する（委員のSNS効果も期待）

～失敗を恐れず挑戦しよう！～

○ 部会

★ 「地域とつながりたい（参加側）」

★ 「この指とまれ（企画側）」

- ・部会の開催日時、開催場所は自由に設定。
- ・フィールドワークも可（調査や研究）例.実際の地域のイベントを見に行く。
- ・ウェブ会議等も利用可。
- ・オブザーバーとして、市内事業者などにも柔軟に対応していく。
- ・大交流会の実施も可（委員が発起人となって関連する人を集めて意見交換）
（イベントで終わらないような工夫を考える）
- ・常時、委員からの意見等は受け付ける。→会長、副会長に報告

★ 結果のまとめ

効果のあるものを作り出す

- ・各地域団体や市民団体への提案
- ・自治会加入促進マニュアルに使用
- ・HP、広報誌などでPR
- ・動画などビジュアルに訴えかけるものを作成
- ・庁内向け研修に使用 など

～見せ方の工夫、情報発信としてのツールを作る～

スケジュール

回数	時期	種別	内容	備考
0	R元・5月	選定	35人の応募に対し13人の公募委員を選定	
1	6月28日	全体会	・委員の委嘱 ・会議の方向性の共有 ・部会の設立	・1回目と10回目は固定。その他の開催は流動的に対応
2	7月～	部会	個別テーマの協議	
3				
4	9月	全体会	・各部会の中間報告 ・R2年度の予算要求提言 ・「参画と協働の取り組み項目」の報告	
5	10月～	部会	個別テーマの協議	
6				
7	12月	全体会	意見発表	
8	R2・1月～	部会	意見の「見せ方」を考えよう	
9				
10	3月	全体会	意見の集約。次期につなげるかの検討	

本日お決めいただきたい内容

1. 2部会のテーマ設定

	テーマ名	備考
①		
②		

2. 部会のメンバー決め

	副会長名	委員名
①		
②		